

第15回対馬軟式野球選手権大会

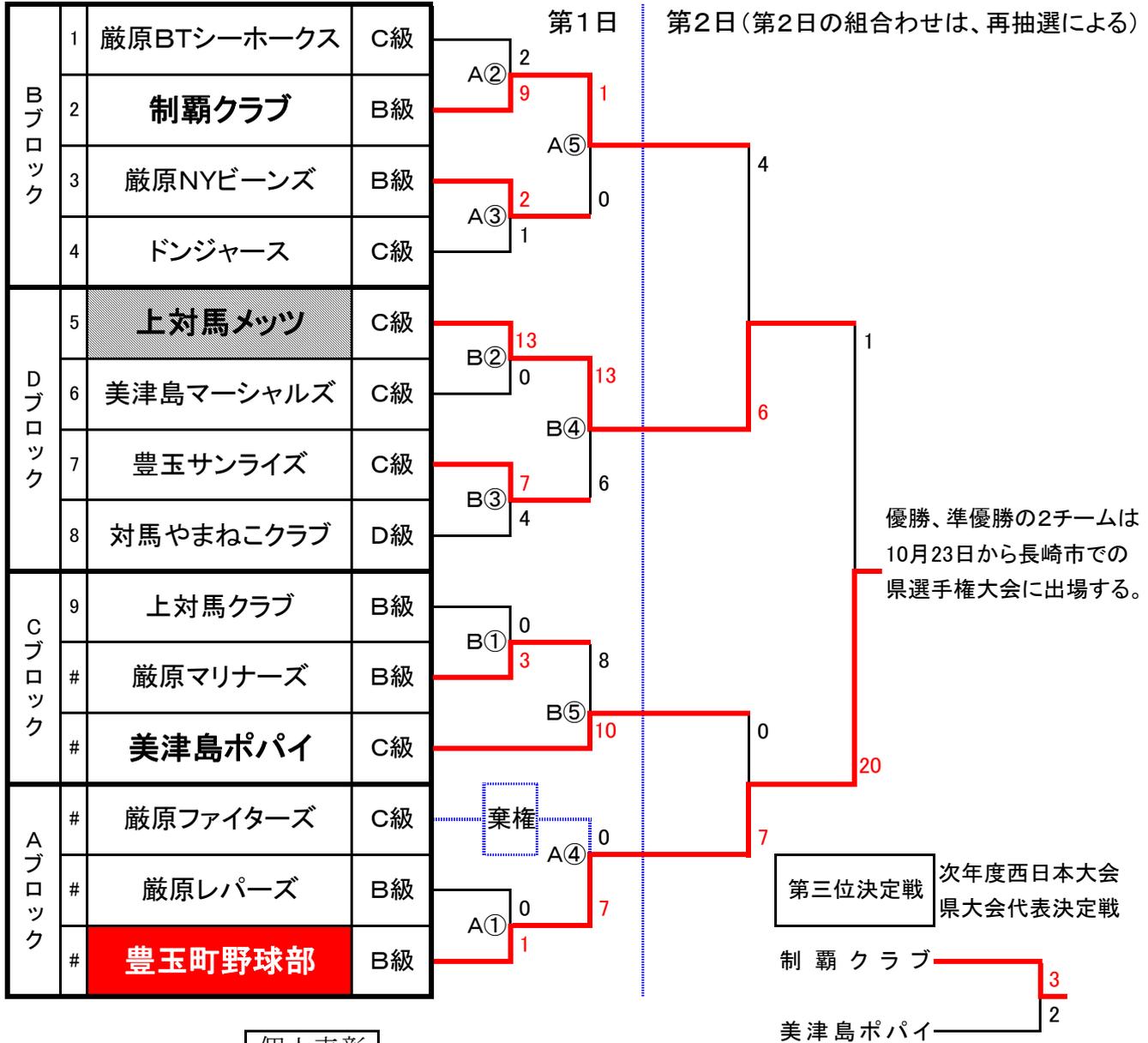
第60回記念 長崎県軟式野球選手権大会 対馬地区予選会

第1日 9月12日(日)

A: 厳原野球場
B: 美津島野球場

第2日 10月3日(日)

美津島野球場
(試合はすべて7回戦)



個人表彰

- 最優秀選手賞 小島 洋平(豊玉)
- 優秀選手賞 村瀬 裕亮(豊玉)
- 小宮 光(メッツ)
- 敢闘賞 扇 則昭(メッツ)
- 梅野 譲治(豊玉)
- 打撃賞 小宮 光(メッツ) 14打席10打数6安打

大会第1日目は、早朝の降雨により両会場とも水溜りができており、除水作業のため試合開始予定時刻(両会場とも9時)より遅れて開始。その後、厳原会場では第

2試合途中に降雨中断(10分間)があった。美津島会場では1試合目の後半に降雨に見舞われたが、中断無く続行し、両会場で計9試合を行なった。

【一回戦】A① 09:55～(1時間06分)

厳原レパーズ	000 000 0	0
豊玉町野球部	000 100 X	1

【二】村瀬、築城

第1回(H8)と第7回の対馬選手権覇者の厳原レパーズと、第4回、13回の2大会を制した豊玉町野球部が一回戦で対したが、三回二死二塁に村瀬の左中間二塁打で挙げた1点を守り切った豊玉が快勝した。この回、先頭の扇が中前打。犠打二進後に三ゴロで塁間に挟殺された後の村瀬の一打だった。豊玉は五回に先頭の築城が左越え二塁打するも一死後に二飛で飛び出し併殺。六回は二死から安打と二盗の得点機は逸して残塁数は2。

レパーズの得点機は三回内野安打に失策が絡み犠打の二死三塁と、六回先頭が四球出塁し内野ゴロ失と犠打の二死二三塁も後続が凡退。最終の七回に打撃妨害で先頭の川崎が出たが連続三振後の二死二塁も敢え無く一邪飛。

【厳原レパーズ】打安点球

⑧ 田中 淳也	3 0 0 0
⑥ 一宮 努	2 0 0 0
① 木屋 勝也	3 0 0 0
⑤ 川崎 仁	3 0 0 0
③ 加治 博文	3 0 0 0
⑨ 舍利倉政司	3 0 0 0
② 松尾 吉範	3 0 0 0
④ 志賀 慶二	1 1 0 1
⑦ 阿比留新吾	1 0 0 0

犠2振5残4 # 1 0 1

【豊玉町野球部】打安点球

⑤ 扇 祥喜	2 1 0 0
5 横瀬 弘樹	1 0 0 0
⑥ 上野 哲平	2 1 0 0
④ 森田 将平	3 0 0 0
② 村瀬 裕亮	2 1 1 0
⑨ 長郷 健彦	2 0 0 0
⑧ 築城 貴憲	2 1 0 0
① 小島 洋平	2 0 0 0
⑦ 梅野 譲治	2 0 0 0
③ 阿比留慎太郎	2 0 0 0

犠1振5残2 # 4 1 0

【審判:山田聡ほか厳原ファイターズ4名】

【二回戦】A④

厳原ファイターズが人員不足により棄権したので、豊玉町野球部が準決勝に進出した。

【一回戦】A② 11:15～(1時間21分) 降雨中断10分

厳原BTシーホーク	011 00	2
制 覇 ク ラ ブ	540 0X	9

【三】日下部達、日下部智 【二】三槻、須川

初回の制覇は先頭の日下部が右中間三塁打、日下部智の安打で先制。四球と敵失の満塁に斉藤の内野安打と三槻の2点二塁打に内野ゴロで計5点を奪った。二回にも先頭の日下部達と須川の連安打の2走者を日下部智の右中間三塁打で一掃し、さらに敵失があり内野ゴロと暴投によりこの回に4点を挙げた。

シーホークスは二回先頭の四球を足場に敵失で繋いだ一死一三塁に中庭の中前適時打と、三回に代わった斉藤から先頭が四球を得、捕逸で進塁し内野ゴロ失で還った2点のみ。三回一死一二塁に降雨激しく中断があり、その後四球で二死満塁と攻め立てたが、追加点は挙げられず、五回コールド敗戦に沈んだ。

【シーホークス】打安点球

② 神宮 保夫	2 0 0 1
⑥ 多田 智樹	3 0 0 0
⑤ 原口 大輔	3 0 0 0
③ 中山 貴美男	2 1 0 1
⑧ 浅野 竜一郎	3 0 0 0
① 山坂 秀昭	1 0 0 1
⑦ 中庭 一穂	2 1 1 0
⑨ 斉藤 隆	1 0 0 1
④ 小島 亮	2 0 0 0

犠0振5残6 # 2 1 4

【制覇クラブ】打安点球

⑧ 日下部 達也	3 2 0 0
⑦ 須川 栄作	3 2 0 0
② 日下部 智久	3 2 3 0
⑥ 小宮 茂輝	1 0 0 2
③ 高原 吉弘	3 0 0 0
⑤① 斉藤 良樹	3 1 2 0
①⑤ 三槻 伸也	2 1 2 1
④ 国分 力弥	2 0 1 0
⑨ 斉藤 啓太	2 0 0 0

犠0振1残4 # 8 8 3

【審判:川崎仁ほか厳原レパーズ4名】

【一回戦】A③ 12:45～(1時間22分)

ドンジャース	000 001 0	1
厳原NYビーンズ	000 002 X	2

試合の前半はドンジャースが優位に進めたが、一打が出なかった。初回は井村が安打の二死二塁、二回は二死後に死球と暴投の三塁を、四回には一死後に阿比留の安打などを得点に結び付けなかった。だが投手交代があった六回に2四球の一死一三塁で阿比留が左前に快打。続く内野ゴロで二死二三塁を逸したのが、その裏に逆転を許した。

ビーンズは三回に先頭の稲員が中前打するも二盗死で四回まで打者12人の残塁ゼロ。五回に先頭小田が安打と犠打二進も後続が無く、六回先頭が四球、二盗と犠打の一死三塁に津野が中前に同点打。二盗と敵失三進の一死二三塁に投ゴロ(野選)で津野が本塁を突き逆転した。

【ドンジャース】打安点球

⑥ 長岡 亮	2 0 0 1
⑤ 井村 昭洋	3 1 0 0
⑦ 上松 洋	2 0 0 1
③ 阿比留克博	3 2 1 0
① 永留 英昭	3 0 0 0
④ 中庭 俊樹	3 0 0 0
② 中嶋 洸祐	2 0 0 1
⑨ 佐伯 勝也	3 0 0 0
⑧ 中村 誠也	3 0 0 0

犠0振5残5 # 3 1 3

【厳原ビーンズ】打安点球

⑧ 津野 裕二	3 1 1 0
⑨ 梅野 直樹	3 0 0 0
⑦ 川崎 貴夫	3 0 1 0
② 小田 剣生	2 1 0 1
③ 久和 貴博	2 0 0 0
⑥ 修行 武	2 0 0 0
④ 稲員 雄馬	2 1 0 0
① 村上 静男	1 0 0 0
1 鳥飼 亮佑	0 0 0 1
⑤ 阿比留祐一	1 0 0 0

犠2振2残3 # 3 2 2

【審判:神宮保夫ほか厳原シーホークス4名】

【一回戦】B① 09:45～(1時間31分)

上対馬クラブ	000 000 0	0
巖原マリナーズ	000 210 X	3

【二】洲河
坂上、坂本

早朝の雨によりできた数箇所の水溜り除水作業により45分遅れて試合開始。マリナーズは二回に2四球を得て二死二三塁と攻めたが無得点。四回二死後に坂上の三塁手を弾いた打球が場外に出るエンタイトル二塁打。続く岩本も遊撃手を強襲し坂上が三塁を回って先制。二盗後に坂本の右線二塁打と長短3連打で優位に立った。五回には遊ゴロ送球に生きた山代が二盗と捕逸三進後に白石の遊ゴロで還って追加点を挙げた。

上対馬クラブは第10回大会で18チームの頂点に立っており、準優勝は過去大会で三度。だが初回から三回まで毎回得点圏に走者を送るが一打無く、惜しかったのは三回に安打の武末太と梅野がヒットエンドランを鮮やかに決めた一死一三塁に中軸が一飛と二ゴロに倒れて先制機

【上対馬クラブ】打安点球 【巖原マリナーズ】打安点球

⑧武末 太 3 1 0 0	⑤白石 勝太 3 0 1 0
⑥梅野 英和 2 1 0 1	⑥武本龍太郎 3 0 0 0
①佐護 正己 2 0 0 1	②宮原 大輔 3 0 0 0
⑤中原 恵一 2 0 0 1	③神宮大司朗 2 0 0 1
⑨大浦 英悟 3 0 0 0	⑦坂上 仁志 3 1 0 0
⑦扇 伸秀 3 0 0 0	①岩本 一也 2 1 1 1
③武末 修一 2 0 0 0	⑧坂本 元太 1 1 1 2
H小島 健 1 0 0 0	⑨石崎 博己 3 0 0 0
④洲河 直樹 3 1 0 0	④山代 毅 2 0 0 0
②梅野加寿人 3 0 0 0	犠0振4残5 # 3 3 4
犠0振5残6 # 3 0 3	

【審判:藤島亨ほか美津島パイ4名】

を逸したことだった。

【一回戦】B② 11:34～(1時間12分)

美津島マーシャル	000 00	0
上対馬メッツ	724 0X	13

【三】河本
【二】井上

上対馬クラブは四球11に死球3個と、暴投と捕逸も計10個を得、二回は河本の適時三塁打や米田周の左タイムリー打、三回には二死満塁から扇の2点打などで計13点を挙げて五回コールド勝利した。

初回の攻撃は打者12人に3連続を含む5死四球と3敵失に振り逃げなどの走者7人が、全てエラー、捕逸、暴投などで還り7点を献上してもらい試合の大勢を決めた。

マーシャルズは攻撃にも元気がなく、見せ場は五回先頭の井上が左越えエンタイトル打したぐらいで、平成4年に二度目の県選手権大会出場した実績はあるが、その予選会が対馬選手権となつてからは、第4回(11年)と第7回に決勝戦進出したが、豊玉町野球部(1-20)と、巖原レパーズ(0-1)に敗れており、県選手権への道のりは遠い。

【マーシャルズ】打安点球 【上対馬メッツ】打安点球

⑤田中 健一 3 0 0 0	⑨板井 将之 1 1 0 2
⑥村瀬 恵二 2 0 0 0	H9梅野 一也 0 0 0 1
①高島 昇平 2 0 0 0	⑤平間 友則 1 0 0 2
④嶺 桂太 2 0 0 0	8武南 優司 0 0 0 1
⑦小川 寿浩 2 0 0 0	②米田 宏之 2 0 0 1
②井上 敬司 1 1 0 1	④小宮 光 1 0 0 3
⑨早田 卓也 1 0 0 0	③河本 法満 3 1 1 1
H石川 恒明 1 0 0 0	①財部 晃 3 0 0 0
⑧早田 竜介 1 0 0 0	⑥米田 周市 1 1 2 2
8吉野寿々年 1 0 0 0	⑦扇 博祝 3 1 2 0
③勝見 賢次 1 1 0 0	⑧5石橋 直也 2 0 0 1
3中庭八寿彦 1 1 0 0	犠1振5残8 # 4 5 #
犠0振5残4 # 3 0 1	

【審判:大浦英悟ほか上対馬クラブ4名】

【一回戦】B③ 13:01～(1時間49分)

対馬やまねこクラ	121 000 0	4
豊玉サンライズ	004 003 X	7

【三】村瀬、阿比留寿 【二】柴田、小田、吉田周、津屋2

やまねこは初回に左越え二塁打を確実に三塁に送り、四球後の一三塁に原田の中犠飛で先取した。続く山城が安打の一三塁は実らなかったが、二回にも先頭の寺山が左前打で出ると吉田が送り連続四球で満塁。三振後の二死から小田が左越え二塁打して二者を還した。さらに三回は原田、渡辺、寺山が四球で一死満塁。ここで吉田が左に弾いて追加。渡辺も本塁を突いたがこれは憤死した。

追う展開のサンライズは一二回とも先頭が出て二塁に走者を置くが無得点。三回に小嶋と築城が安打の二死二三塁に村瀬が右中間突破の三塁打、続く中飛失や井上の適時打で同点とした。四、五回とも走者を三塁まで進めるもリードが奪えないサンライズは、六回に津屋が先頭二塁打。三盗を決めたが小嶋の遊ゴロで三本間に挟殺された後に、波多野の左飛失で二塁から小嶋生還。阿比留の三塁打と、暴投でこの回に3点を挙げた。

【対馬やまねこ】打安点球 【豊玉サンライズ】打安点球

⑥柴田 孝文 3 1 0 1	⑦波多野健一 2 0 0 2
⑦阿比留昭実 3 0 0 0	⑥築城 公則 2 1 0 0
⑤小田保比古 3 2 2 1	H6阿比留寿也 2 1 1 0
④原田 初見 2 0 1 1	②中嶋 佳祐 4 0 0 0
③山城 啓資 4 1 0 0	⑧村瀬 克 4 1 2 0
⑧渡辺 博美 2 0 0 2	③吉田 周平 3 2 0 0
⑨寺山武八郎 1 1 0 1	3松井 直輝 0 0 0 0
R9古瀬 宙 1 0 0 0	⑤井上 誠一 3 1 1 0
H春田 章 1 0 0 0	⑨中嶋 敏彦 3 0 0 0
②吉田 栄 1 1 1 1	①津屋 敏彦 3 2 0 0
①島居 洋 2 0 0 1	④小嶋 忠志 3 1 0 0
犠3振5残9 # 6 4 8	犠0振4残6 # 9 4 2

【審判:勝見賢次ほか美津島マーシャルズ4名】

やまねこも五回に四死球と捕逸で二死ながら二三塁に島居が三振。六回にも一死後に敵失と小田の安打で一三塁に期待の4番原田は遊飛併殺打。

【二回戦】A⑤ 14:23～(1時間28分)

制覇クラブ	001 000 0	1
巖原NYビーンズ	000 000 X	0

【三】岡部
齊藤

ビーンズが対馬選手権初優勝したのはC級当時の平成15年(第8回)で、二度目が3年後の18年。この年の県選手権でベスト4になっている。その翌年に制覇クラブが対馬選手権初優勝し、次の年(20年)は準優勝。ビーンズ三度目の優勝が昨年度で、今年の高松宮杯一部代表になっていることから、巖原マリナーズ(天皇賜杯の代表)とともにブロック分けシードされていた。

得点が入ったのは制覇クラブの3回表のみ。先頭の三槻が三振振り逃げで生きると、岡部が左中間を破り、この1点のみ。制覇はこの回に一死二三塁と攻め立てたが三ゴロで本塁死で実らなかった。四回の齊藤の三塁打も二死後で、五回無死一二塁も連続投ゴロ三封で追加点は挙げられなかった。

対するビーンズは初回に内野安打と四球の二死一二塁や、二回先頭が安打も三→二→一の併殺に倒れたり得

【制覇クラブ】打安点球

⑧ 日下部 達也	3 0 0 0
⑦ 須川 栄作	3 0 0 0
⑥ 小宮 茂輝	3 0 0 0
② 日下部 智久	3 0 0 0
③ 高原 吉弘	3 0 0 0
⑤ 齊藤 良樹	3 1 0 0
① 三槻 伸也	3 0 0 0
⑨ 岡部 洋平	3 2 1 0
④ 齊藤 啓太	3 0 0 0

犠0振2残5 # 3 1 0

【巖原ビーンズ】打安点球

⑨ 津野 裕二	3 0 0 0
⑤ 阿比留 祐一	2 1 0 1
② 田中 宏	3 0 0 0
⑧ 小田 剣生	2 0 0 1
① 鳥飼 亮佑	3 1 0 0
③ 原田 学	3 1 0 0
⑦ 川崎 貴夫	1 0 0 1
H 梅野 直樹	1 0 0 0
④ 梅野 智明	2 0 0 0
H 作元 功照	1 0 0 0
⑥ 修行 武	2 0 0 0

犠0振4残5 # 3 0 3

【審判:武田浩二ほかドンジャース4名】

点を挙げられず、最終の七回先頭の鳥飼が安打出塁も二死二塁とするのがやっとなで、三塁を踏めずに敗退した。

【二回戦】B④ 15:02～(2時間11分)

美津島ポパイ	061 102 0	10
巖原マリナーズ	310 002 2	8

【三】中尾【二】中村、西山、宮原

両チームの投手はスピードはあるが制球力が無く、ポパイの中村はこの試合がデビュー戦。4死球に10四球と大荒れ。初回先頭から死四球と重盗の二三塁で宮原に左線二塁打を浴び更に死球。岩本の二ゴで3点を許した。

マリナーズの白石も初回一死後の連続四球は事なきを得たが、二回に先頭の西山から3連続四球。無死一塁の時に二盗死で一死を取ったが波田の右安打の一死満塁から川崎と小島一に連続押し出しの四球を与え、中飛の二死満塁に中尾と中村に連続短長適時打され一気に6失点で逆転を許した。

その後も白石は六回まで毎回の四球を与え、三回は二死後の四球と三ゴロ一塁失で、四回は中尾と中村の連続長短打で、六回には11個目の四球を先頭に与え暴投二進後に西山に左越えエンタイトル打と、捕逸三進後に田口のスクイズで合計10失点した。

二回以降の中村も五回を除いて毎回の四死球。二回に安打の山代から足でかき回され、二盗、三盗、本盗(送球の間に)されて1失点。三回と四回は共に2四球走者を出したが三回は連続三振で、四回は二飛で切り抜けた。

【美津島ポパイ】打安点球【巖原マリナーズ】打安点球

⑦5 川崎 滉祐	4 1 1 1
③ 小島 一輝	2 0 1 3
⑥ 小島 秀隆	4 0 0 1
⑤ 中尾 寿憲	3 2 2 1
R7 田口 功二	0 0 0 0
① 中村 裕也	4 2 3 0
⑧ 西山 哲也	3 1 1 1
⑨ 田口 憲一	1 0 1 2
④ 石橋 隆弘	3 0 0 1
② 波田 正嗣	4 1 0 1

犠1振6残8 # 7 9 #

① 白石 勝太	2 0 1 3
⑥ 武本 龍太郎	2 0 1 3
② 宮原 大輔	5 1 2 0
③ 神宮 大司朗	2 0 0 2
⑦ 岩本 一也	3 1 1 1
⑧ 坂本 元太	3 0 0 1
⑤ 福島 剛士	4 0 0 0
⑨ 石崎 博己	1 0 0 3
R 江口 豊優	0 0 0 0
④ 山代 毅	3 2 1 1

犠0振7残10 # 4 6 #

【審判:原田初見ほか対馬やまねコクラブ4名】

だが六回表に2点加点してもらい6点リードしての六回裏一死から連続四球に暴投で二三塁。白石の遊ゴロと三ゴロ失で4点差に。最終の七回裏先頭の岩本に内野安打。二死となって死球と山代の三塁内野安打で岩本を還し、白石に四球を与え満塁。武本の一ゴロ野選で2点差。やっとな宮原を二ゴロに仕留めて、2時間11分の合計25四死球戦は終わった。

【二回戦】B⑤ 17:23～(1時間49分) 点灯=18:03

上対馬メッツ	015 34	13
豊玉サンライズ	501 0X	6

【三】河本【二】梅野恭、板井、平間、中嶋佳

サンライズは初回到四球、バント、四球と吉田が安打の一死満塁に井上の三ゴロ(一失)と築城の2点スクイズに暴投と小嶋のタイムリーで幸先の5点を挙げて優位に立った。だが、メッツは球威が無く制球の定まらない小嶋を攻め立てて、二回に板井の左中間二塁打で追い、照明が点灯された三回に先頭の小宮、河本の短長打で1点、その後2四球に内野安打を絡め、連続敵失などで2点を加えた二死二三塁に平間の逆転2点二塁打で5点を挙げた。その裏に四球(二盗)から中嶋佳の二塁打で同点とされたが、四回に再び先頭の小宮と河本が連安打し財部が四球の無死満塁から、梅野恭の2点打に武南の内野安打で3点目。五回には敵失出塁から小宮の適時打に重盗や武南の7点差をつける中前打などで突き放した。

五回裏に交代した石橋が先頭に死球。この走者が還れば6点差となって、六回以降の攻防が予測されたが後続の三者が凡退して、5回7点差コールドが成立した。

【上対馬メッツ】打安点球【豊玉サンライズ】打安点球

⑨ 板井 将之	4 2 1 0
H 梅野 一也	1 0 2 0
④ 平間 友則	3 1 0 1
②8 米田 宏之	4 1 0 0
⑦ 小宮 光	3 3 1 1
③ 河本 法満	3 2 1 1
⑥ 財部 晃	1 0 0 3
⑤ 梅野 恭平	4 3 2 0
① 米田 周市	4 1 1 0
1 石橋 直也	0 0 0 0
⑧2 武南 優司	3 2 2 1

犠0振3残9 # # # 7

⑥ 津屋 敏彦	2 0 0 1
⑧ 村瀬 康展	2 0 0 0
④ 作元 政志	0 0 0 1
4 松井 直輝	1 0 0 1
⑦ 吉田 周平	3 1 0 0
⑤ 井上 誠一	2 0 1 0
H 中嶋 慎一	0 0 0 1
⑨ 築城 公則	0 0 2 1
H 阿比留 寿也	1 0 0 0
③ 中嶋 佳祐	3 1 1 0
② 村瀬 新吾	2 0 0 1
① 小嶋 忠志	2 1 1 0

犠2振4残5 # 3 5 6

【審判:江口豊隆ほか巖原マリナーズ4名】

時は既に19時12分で、朝8時から除水作業を始めており『長い一日』が終わった。

【準決勝①】 09:31～(1時間55分)

上対馬メッツ	100 302 0	6
制覇クラブ	101 020 0	4

【二】小宮光、河本、扇、三槻

両チームとも初回に二塁打が絡んで得点したが、三回に制覇が二死二三塁から小宮隆の投手強襲安打でリードした。だが四回に2本の二塁打で逆転されると五回には敵失に連続四球の無死満塁が遊ゴロ本封の一死後に日下部智が左前に同点のテキサス打してシーソーゲームとなった。

メッツは四回に先頭の振り逃げを河本の左中間二塁打で還し、四球後に扇も左中間を深々と破って一気に逆転した。同点の六回には8番の浦崎が歩き財部と板井の連安打で満塁。一ゴロ本封後の二死から小宮光が左前に落として二者を迎え入れ、これが決勝点となった。

【上対馬メッツ】打安点球

⑨板井 将之	4 2 0 0
⑥平間 友則	3 0 0 1
④小宮 光	4 2 2 0
⑦米田 宏之	4 1 1 0
③河本 法満	3 1 1 1
⑤梅野 恭平	3 0 0 1
②扇 則昭	4 1 2 0
⑧浦崎 亮真	2 0 0 1
①米田 周市	2 0 0 0
1財部 晃	1 1 0 0
犠0振4残7	# 8 6 4

【制覇クラブ】打安点球

⑧日下部 達也	3 0 0 1
⑤1三槻 伸也	4 2 0 0
⑮15斉藤 良樹	4 0 0 0
③小宮 隆宏	3 2 2 1
⑨7岡部 洋平	2 0 0 2
⑥小宮 茂輝	4 0 0 0
②日下部 智久	4 1 2 0
⑦糸瀬 慎吾	1 0 0 1
H9国分 力弥	1 0 0 0
④斉藤 啓太	2 1 0 1
犠0振4残9	# 6 4 6

【審判】藤島、神宮大(マ)、山田徹(フ)、多田智(BT)

【準決勝②】 11:40～(1時間05分)

美津島ポパイ	000 00	0
豊玉町野球部	000 7X	7

【三】小島洋

豊玉は初回に2個、三回にも二死後に2個の死四球を得たが後続打が無く迎えた四回に、先頭の四球と安打の横瀬を小島が右越え三塁打して還し、さらに4死四球で2個の押し出しと内野ゴロに横瀬の2点適時打で7点差をつけて五回コールドに仕留めた。

ポパイは二回二死後に連打の先制機も天本の当りには痛烈な右前打。これがライトゴロになったのは不運。その後は1併殺を喫するなど三者凡退に終わった。

【審判】吉野、山田聡(フ)、松尾(レ)、神宮保(BT)

【美津島ポパイ】打安点球

④江嶋 潔	1 0 0 1
①田口 憲一	2 0 0 0
③小島 一輝	2 0 0 0
⑦中尾 寿憲	2 0 0 0
⑧西山 哲也	2 0 0 0
②山野 陽介	2 1 0 0
⑥小島 和豊	2 1 0 0
⑨天本 克弘	2 0 0 0
⑤波田 正嗣	1 0 0 0
犠0振6残2	# 2 0 1

【豊玉町野球部】打安点球

⑧扇 祥喜	0 0 1 3
⑥上野 哲平	2 0 1 1
④森田 将平	1 0 1 2
②村瀬 裕亮	2 0 0 1
⑤横瀬 弘樹	3 2 2 0
①小島 洋平	2 1 2 0
⑨長郷 健彦	2 0 0 0
⑦梅野 譲治	1 0 0 1
③阿比留慎太郎	1 0 0 1
犠0振3残4	# 3 7 9

【三位決定戦】 13:00～(1時間38分)

制覇クラブ	111 000 0	3
美津島ポパイ	200 000 0	2

【三】斉藤良

【二】山野

制覇が敵失に恵まれて辛勝した。初回は日下部達の右前打に失策が絡んで三進。続く三槻の三ゴロ一失で先制すると、二回は四球の小宮茂が内野ゴロと日下部達の内野安打で三進した後に暴投で同点に。三回には二死から斉藤が右中間を抜く三塁打。日下部智の三ゴロ悪送球で難なく決勝点を挙げた。

【審判】勝見、山田聡(フ)、岩本(マ)、中山(BT)

【制覇クラブ】打安点球

⑧日下部 達也	3 2 0 0
9野田 慎太郎	1 0 0 0
⑤三槻 伸也	4 0 0 0
⑦須川 栄作	2 0 0 0
7国分 力弥	2 0 0 0
③小宮 隆宏	1 0 0 0
3高原 吉弘	2 0 0 0
⑥斉藤 良樹	3 1 0 0
②日下部 智久	3 0 0 0
⑨8岡部 洋平	3 1 0 0
⑮14小宮 茂輝	2 0 0 1
④1斉藤 啓太	3 1 0 0
犠0振5残6	# 5 0 1

【美津島ポパイ】打安点球

④江嶋 潔	1 0 0 1
H西川 典夫	1 0 0 0
⑦田口 憲一	3 0 0 1
⑥小島 一輝	1 1 0 2
①中尾 寿憲	3 0 0 0
⑧西山 哲也	3 0 0 0
②山野 陽介	3 2 2 0
⑨天本 克弘	2 0 0 1
⑤波田 正嗣	3 0 0 0
③藤島 隆之	1 0 0 0
③小島 勝也	2 1 0 0
犠1振4残6	# 4 2 5

【決勝】 14:46～(1時間24分)

上対馬メッツ	1 0 0 0 0	1
豊玉町野球部	1 # 4 1 X	20

【三】梅野譲2

【二】米田宏

初回、二死後に3短長打で1点先取したメッツだったが先発の浦崎の制球が定まらず二回、打者12人に6死四球を与え、代わった平間も6人に3死四球。結局この回打者18人に9死四球は押し出しで4点、暴投による4点に加えて、梅野譲の2安打3打点や長瀬、森田の適時打などで大量14失点した。さらに三回も先頭小島の安打と死球後に梅野から三塁打されたり、失策なども絡んで4失点。四回先頭から登板の扇則も四球走者を梅野譲に試合6打点目となる4安打目を浴び合計20失点した。

豊玉町野球部は平成11年の対馬選手権決勝戦でも、美津島マーシャルズに対して同スコア(20-1)により優勝している。

【上対馬メッツ】打安点球

⑨板井 将之	3 0 0 0
③河本 法満	3 1 0 0
⑧米田 周市	2 1 0 0
②小宮 光	2 1 0 0
④米田 宏之	2 1 1 0
⑥梅野 恭平	2 0 0 0
⑤7原 泰彦	1 0 0 1
⑦扇 博祝	1 0 0 0
H1扇 則昭	1 0 0 0
①浦崎 亮真	1 0 0 0
#平間 友則	1 0 0 0
犠0振4残4	# 4 1 1

【豊玉町野球部】打安点球

⑤8扇 祥喜	2 1 1 2
⑥上野 哲平	1 0 3 3
④森田 将平	3 1 1 1
②村瀬 裕亮	3 0 0 1
⑮15横瀬 弘樹	3 0 0 1
⑧1小島 洋平	2 1 1 2
⑨長郷 健彦	2 1 1 2
⑦梅野 譲治	4 4 6 0
③阿比留慎太郎	3 1 1 1
3長郷 健彦	0 0 0 0
犠0振3残4	# 9 # #

【審判】初村、小田(ビ)、阿比留新(レ)、白石(マ)

対馬町村会長杯争奪 各町対抗軟式野球大会第1回からの決勝戦戦績

回	年	優勝	スコア	準優勝	県選手権大会の戦績
1	S. #	上対馬町	不明	美津島町	上対馬は県体に出場のため、美津島が出場 【二】0-7諫早クラブ=準優勝
2	#	美津島町	不明	上対馬町	【一】6-2全大島(西彼) 【二】0-3日本ダッジファイバー(松浦)
3	#	厳原マックス	不明	不明	【一】1-2松浦市役所
4	#	美津島フェニックス	不明	不明	【一】5-2全田平(県北) 【二】4-6奈良尾クラブ(上五島)=優勝
5	#	美津島メッツ	不明	不明	【一】2-1長崎無線電報局(諫早) 【二】0-1長崎日野自動車(長崎)=優勝
6	#	厳原マックス	2-0	上県クラブ	【一】4-3富江クラブ(福江) 【二】1-2親和銀行(佐世保)=準優勝
7	#	厳原海王	不明	不明	【一】1-0大村市役所 【二】0-10長崎日野自動車(推薦)=三連覇
8	#	豊玉クラブ	不明	不明	【二】4-0大村市役所 【三】2-0全田平(県北) 【準】0-1長崎日野自動車(推薦)=準優勝 ベスト4
9	#	〃	不明	厳原海王	【二】4-3大村球友クラブ 【三】3-2佐々クラブ(県北) 【準】0-6親和銀行(推薦)=優勝 ベスト4
#	#	峰ファイターズ	3-1	美津島マーシャルス	【二】1-8有明町クラブ(南高)
#	#	上対馬クラブ	2-0	豊玉クラブ	【二】0-7三菱重工長崎(推薦)=準優勝
#	#	厳原海王	5-1	豊玉クラブ	【二】5-0崎山クラブ(福江) 【三】1-8三菱重工長崎=準優勝
#	#	〃	4-2	美津島マーシャルス	【二】9-5小長井クラブ(北高) 【三】2-0佐世保市水道局 【準】1-11三菱重工長崎=準優勝 ベスト4
#	#	上対馬クラブ	7-2	美津島ポパイ	【二】0-2富江クラブ(福江)
#	H. 元	豊玉クラブ	3-2	美津島マーシャルス	【二】5-0安中クラブ(島原) 【三】0-7長崎県共済連(長崎)
#	2	美津島マーシャルス	1-0	上県佐護リハース	【一】3-1松島炭鉱池島鉱業所(西彼) 【二】0-5親和銀行(推薦)=優勝
#	3	峰ファイターズ	2-0	厳原レパーズ	【一】0-4中興化成工業(松浦)=準優勝
#	4	美津島マーシャルス	5-2	厳原ワイズ	【二】3-1安中クラブ 【三】1-3大村市役所
#	5	厳原ワイズ	4-2	上対馬クラブ	【二】0-3彼杵スラッガーズ(東彼)
#	6	豊玉町野球部	3-1	厳原レパーズ	【二】1-5愛野町体協野球部(南高)
#	7	厳原ファイターズ	9-5	豊玉町野球部	【一】1-9福江球友会(福江)

平成8年より、登録全チーム参加による『対馬選手権』が始まる。

対馬軟式野球選手権大会第1回からの決勝戦戦績

回	年	参加級	優勝	スコア	級	準優勝	県選手権大会の戦績
①	H. 8	17	B 厳原レパーズ	2-0	B	上対馬ライオンズ	【一】7-12西海棒球団(西彼)
②	9	22	B 大洋真珠クラブ	4-0	B	上対馬メッツ	【二】4-5鹿町バンビーズ(県北)
③	#	22	B 上対馬メッツ	5-3	B	上対馬クラブ	【二】3-7ソニー長崎(諫早)=準優勝
④	#	21	B 豊玉町野球部	20-1	C	美津島マーシャルス	【二】7-1島クラブ(平戸) 【三】0-3親和銀行(推薦)=準優勝
⑤	#	21	C 上対馬ライオンズ	2-0	B	厳原レパーズ	【一】4-8福江球友会(福江)
⑥	#	20	C 上対馬メッツ	5-3	C	厳原ファイターズ	【一】0-1波佐見クラブ(東彼)
⑦	#	20	B 厳原レパーズ	1-0	B	美津島マーシャルス	【二】1-4若松クラブ(上五島)
⑧	#	19	C 厳原NYビーンズ	3-2	B	厳原マリナーズ	【二】0-2波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)
⑨	#	18	B 厳原マリナーズ	8-1	C	厳原ブラボー	【二】5-0県職五島(福江) 【三】2-3親和銀行(推薦)=優勝
⑩	#	18	B 上対馬クラブ	9-6	C	峰エンゼルス	【一】5-2平戸クラブ 【二】1-8TEAM橋口(大村)=準優勝
⑪	#	17	B 厳原NYビーンズ	2-0	B	上対馬クラブ	【一】4-1たちばな信用金庫(諫早) 【二】5-0南串野球部(県南) 【準】9-0三菱重工(推薦)=準優勝 ベスト4
⑫	#	16	B 制覇クラブ	2-1	B	上対馬クラブ	【一】0-2親和銀行(推薦)
⑬	#	14	C 豊玉町野球部	9-2	B	制覇クラブ	【二】0-8親和銀行(推薦)
⑭	#	13	B 厳原NYビーンズ	11-2	C	上対馬メッツ	【一】2-6アイケン医院(推薦:佐世保)
⑮	#	14	B 豊玉町野球部	20-1	C	〃	